

北陸新幹線の京都府北部都市圏を經由する若狭（小浜）ルート の早期実現を求める決議

本年3月に「長野一金沢間」が延伸開業した北陸新幹線は、政府が「金沢一敦賀間」の延伸を3年前倒しすることを決定し、平成35年春の開業に向けて整備が進められている。

そのような中、現在、敦賀以西のルートについて各地で様々な議論が行われているが、全国新幹線鉄道整備法に基づき整備計画された北陸新幹線の公式ルートは、小浜付近を通り大阪へ向かう若狭（小浜）ルートである。

整備計画がつけられた昭和48年当時、福知山市議会は、舞鶴市、綾部市及び宮津市の議会と連携し、北陸新幹線のルートは京都府北部地域を經由するよう京都府並びに京都府議会に対し強く要望している。爾来40年以上が経過し、今ようやく議論が加速しようとしている状況の中にあつて、地域が一丸となつて北陸新幹線の府北部地域への誘致の実現に向けて取り組む必要がある。

京都府北部5市2町では、本年4月に「京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言」を行い、府北部地域を一つの30万人都市とする経済・生活圏の形成に向けて取り組んでいるところであり、整備新幹線には沿線の開発効果として産業立地や観光開発等が期待される。

このことから、府北部地域の活性化を図り、府北部地域連携都市圏の取り組みをより強固なものとするため、北陸新幹線を府北部地域に誘致すべきである。

さらに、府北部地域には、長田野工業団地を始めとした内陸工業団地、日本海側の重点港湾など国土拠点が集積するとともに、多くの高等教育機関や観光資源も存在している中であつて、京阪神や北陸と高速鉄道でネットワーク化することは必要と考える。

北陸新幹線の誘致は、府北部地域の発展に向けた最後のチャンスであり、若狭（小浜）ルートを前提として、府北部都市圏はもとより、京都府域を經由する北陸新幹線ルート
の早期実現について、国及び京都府に積極的に取り組んでいただくよう要望する。

以上、決議する。

平成27年12月24日

福 知 山 市 議 会